

まちづくりに道路ネットワークの向上は必要不可欠です。交通利便性が高まると人が集まりやすくなり、その土地の価値も高まります。

そのため、駅周辺等の開発に合わせて道路整備もしっかりと行うべきだと、**自民党・市民の会**は、道路ネットワーク向上を議会で提言して参りました。

そして、市は2021年3月議会での会派の代表質問「道路ネットワークの向上について」で、「今後の道路整備の進め方」を示しました。(右図参照)これは、市内道路ネットワークの向上に向け、選択と集中により計画的かつ総合的に進めるための非常に重要な指針といえます。

事業のスケジュールとしては、大規模な開発事業の完成時期を捉え、その効果が波及されるよう優先順位が決められています。

1,短期整備としては、令和5年度の十三高槻線正雀工区の本線完成を見据え、千里丘三島線や正雀駅前道路を整備し、駅へのアクセス向上を図るものです。

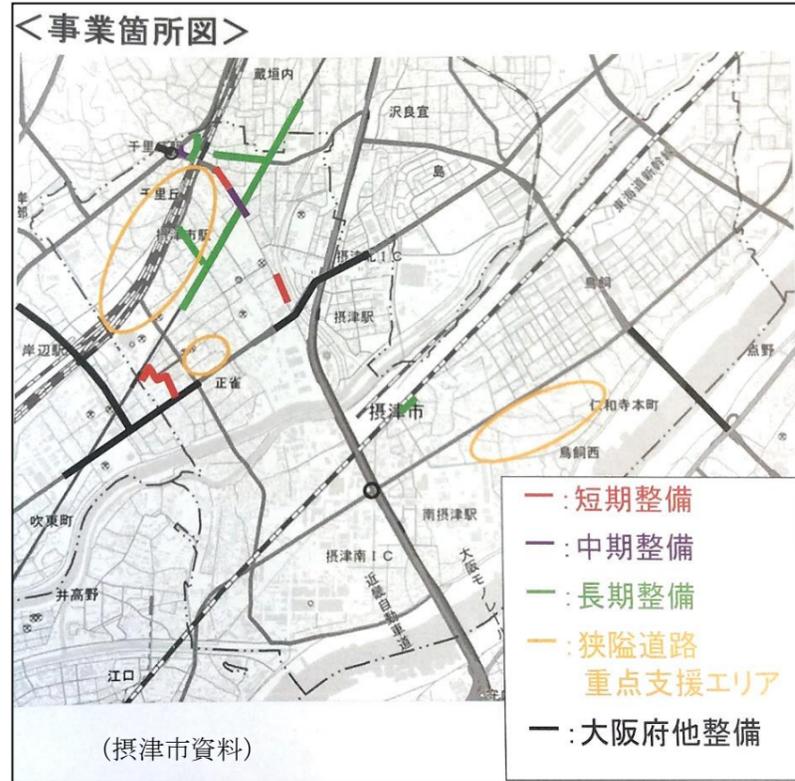
2,中期整備としては、令和8年度の鳥飼仁和寺大橋の無料化による交通転換を見据えた、JR千里丘駅の再開発の完成や阪急連立事業の片線高架化による慢性的な渋滞解消を図るものです。

3,長期整備としては、連立事業の全線完成に合わせ、その効果を最大限に発揮させる関連街路事業の整備を行うものです。

また吹田・摂津・茨木市の【3市長要望】で、**我々、自民党**も動いた**十三高槻線と中央環状線交差部**についても、令和3年度の「大阪府都市整備中期計画」に記載されました。それが下表です。完成すれば、十三高槻線が高槻市から、茨木市、本市、吹田市まで直結します。利便性向上に期待です。(事業は条件付きで、令和12年まで。)

路線名	事業箇所	主な事業内容	事業状況		着手条件
			R2末	R3~R12	
府道大阪高槻京都線(都)十三高槻線	府道大阪中央環状線交差部	機能強化	-	着手(条件付き)	実現性が高く効果的な平面改良方策について関係機関と合意形成
都)十三高槻線(正雀工区)	穴田川水路~府道正雀一津屋線	バイパス	継続	概成	R5概成予定
都)豊中岸辺線(岸辺南工区)	JR岸辺駅~都)十三高槻線	バイパス	継続	概成	

大阪府資料より引用



結言

我々自民党・市民の会は、本市まちづくりにおいて、他市周辺地域、大阪府、そして国の状況を見据え、それらを意識し、活用して、**従来の開発に留まらず、大きく発展**させていくべきと議会で提言して参りました。

市はその提言を踏まえ、JR千里丘駅西地区再開発、阪急京都線連立事業、鳥飼まちづくり、河川防災ステーション整備、それらに伴う住宅等開発需要が高まるエリアでの狭あい道路整備支援、開発を見据えた計画的な道路整備など、諸々を効率的・効果的に連携させ、**1+1を3にも4にもしていく戦略的なまちづくり**を進めます。

自民党・市民の会は、引き続き本市の更なる発展の為に全力で取り組んで参ります。

(この資料は2021年4月24日時点の情報であり、今後計画変更される場合もあります。)

この内容はブログにも記載しています。→



松本あきひこ

※これは摂津市議会議員松本あきひこの市政活動を報告するものです。

令和3年度の摂津のまちづくり

都市開発・道路ネットワーク向上 特集



JR千里丘駅西地区再開発



我々、自民党・市民の会は、まちの発展において都市基盤整備と道路ネットワーク向上は非常に重要であると認識し、**戦略的に取り組んでいます**。令和3年第1回定例会において、事業予算案等を議会で議論しましたが、提言していた内容がしっかりと反映されています。

改めて、本市の令和3年度の**開発(都市基盤整備)の主要事業**並びに**道路ネットワーク向上(道路整備)**への取り組みについて本市政報告にまとめました。是非、ご一読頂ければ幸いです。

令和3年度、市の**開発(都市基盤整備)の主要事業**(上図参照)は、①JR千里丘駅西地区再開発、②阪急京都線連続立体交差事業、③十三高槻線全線完成への推進、④鳥飼まちづくりグランドデザイン推進・河川防災ステーション整備の取組み、⑤健都のまちづくり、そして新味舌体育館建設や、新しい「狭あい道路整備支援制度」などが挙げられます。

また、各開発地域や他市への道路整備、即ち**道路ネットワークの向上**について、市は「今後の道路整備の進め方」を2021年3月議会で示しました。(4ページ参照)

さて、新しい「狭あい道路整備支援制度」が実施されますが、この制度のメリットは、重点整備地区全体に公共・公益性が高まる効果を及ぼすとされる拡幅整備に限定することで、**効率的、効果的に狭隘道路の課題を解消**し、併せて潜在的な住宅需要の掘り起こし、新たな土地利用への転換と誘導を図り、都市整備事業の周辺部での地域活性化につなげていくというものです。(3ページ参照)



JR 千里丘駅西地区再開発

当事業は、災害に弱い密集家屋の解消や交通安全対策の観点から始まりましたが、本市の顔である JR 千里丘駅前という立地であり、かつ当駅は JR 大阪駅から 5 駅と利便性も高く、大きな可能性を有した事業です。

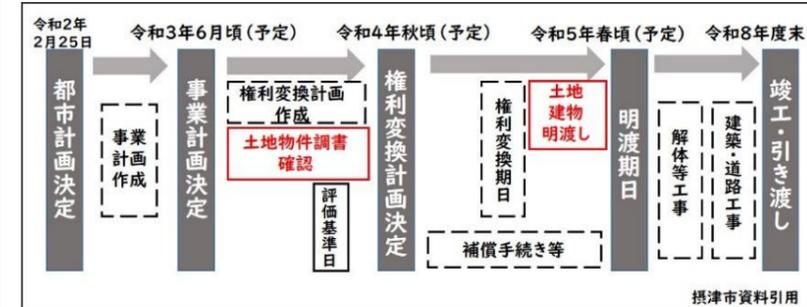
この本市にとって **更なる発展への一大事業** をどう成功させるかが、**自民党・市民の会** の焦点です。

遠方からも千里丘駅に来る、行きたいと思う駅にしなければなりません。その、他駅との差別化を図る成功の鍵は、「**健都**」です。**私たちは**、健康寿命延伸を実現するまち健都和連携し、健康をコンセプトにした再開発にすべきと提言しています。例えば、最新の健康体操・運動ができる施設・場所、健康食を食べられるカフェ・レストラン、健康の知識を得られる本屋、健都の出先施設など、**全国から健康を意識した多くの人々を呼び寄せる**ようにする構想です。

また、再開発の効果を西地区だけでなく、東口のフォルテ側とも連携し一体的な価値向上を図ることが求められます。同様に、周辺エリアへの開発需要を高めるなどの取り組みも必要です。



再開発リンク



それらによって、人を集め、それが税収となり、**市民サービスを向上**させ、更には市民の**摂津市への誇り・愛着度の醸成**にも繋がります。当然ながらお住いの方、地権者、飲食店、事業者などの方々への丁寧な対応もまた市に求めています。再開発のスケジュールは左表をご参照ください。

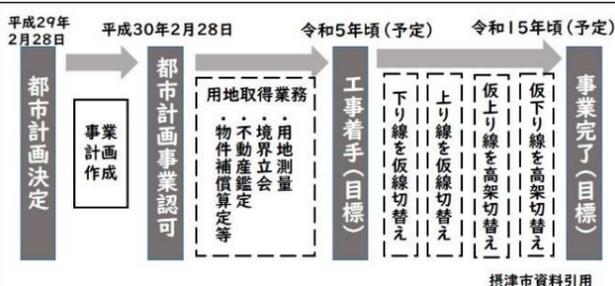
阪急京都線連続立体交差事業

当事業は、千里丘三島線の踏切遮断による慢性的な渋滞、開かずの踏切といわれた場所を解消し、市内の交通渋滞解消に大きく寄与します。

また、それだけでなくこの事業を**まちの更なる発展**へと活用しなければなりません。阪急摂津市駅を人の集まる施設へと変え、さらに高架下の有効活用、高架化による東西の往来が円滑することでの連携、そして JR 千里丘駅の再開発とも連携させ、**周辺地域の開発需要を促進**させなければなりません。

よって、**自民党・市民の会** は、単なる高架事業で終わらすことなく、発展への一層の工夫を行うよう市に提言しています。

また、この事業についても、多くの地権者や借家人等々の市民の方々に関係しており、市に対して丁寧な対応、適切な補償、様々な相談に対応するよう要望しています。



連立事業リンク



河川防災ステーション整備



詳細設計が行われます。その後用地買収や盛り土、上面整備、上部施設の建築などで、おおよそ令和 11 年・2029 年の完成予定です。ただしあくまでも現時点での想定であり、ずれこむ可能性もあります。

国は、淀川氾濫対応のための流域治水を行う河川防災ステーションを摂津市において建設するため、市と協議を行っています。

我々、自民党・市民の会 は、この**河川防災ステーションの実現**に向けて国と連携し、しっかりと取り組んでいます。

建設予定地は(株)山星屋鳥飼物流センター(鳥飼西 1)を中心とするところ(地図参照)です。また民家等も一部ですが建設範囲に入ります。これから交渉等が行われる予定です。

スケジュールについては、2021年に国が整備計画認可を取り、2022年に測量や地質調査、



新しい「狭あい道路整備支援制度」

健都のまちづくりをはじめ、今後、阪急京都線連続立体交差事業、JR千里丘駅西地区再開発、十三高槻線など道路交通整備などの進捗によって、周辺エリアでは住宅の開発需要も高まってきています。この機会を捉え、市は**狭隘道路解消**を促す実効性のある新たな「**狭あい道路整備支援制度**」へ見直しを行っています。



支援制度リンク

従来の制度との違いは、大きく3点。1点目は、助成エリアとして3地区(千里丘・正雀・鳥飼、下地図参照)を**重点整備地区に特定**し、そのエリア内に限る形となっています。

正雀地区においては地域での住宅開発ニーズ、鳥飼地区においても同様に開発ニーズや河川防災ステーション整備も踏まえ選定されました。そして、千里丘地区の設定では、**私の2020年12月議会一般質問**の「**健都から千里丘駅一帯等での成長重点エリアとしての取り組みに向けて**」での新たな住宅開発需要が高まる千里丘地区への重点的施策をという要望をしっかりと反映して頂きました。

なお、申請ができる方(事業者)は3特定地区で開発を行おうとする建築主等になります。

次に、2点目は、**助成対象の拡大**であり、地区内の重点整備路線は開発区域や宅地の前面以外、開発区域から幹線道路までに至る狭隘道路へ対象を拡大しています。

最後に、3点目は、**助成内容の拡充**であり、従来の助成に加えて、用地取得費や工作物の撤去費なども対象に拡充しています。(詳細は摂津市 HP をご参照下さい。)

